

# 平成29年度 宇部市公共交通協議会 第1回会議

日時：平成29年（2017年）5月30日（火） 14:00～15:15

場所：宇部市役所 4階 第2・3・4委員会室

出席者：16名（欠席者4名）

榊原会長、若本副会長、鈴木委員、福本委員、綿部委員、真辺委員（代理出席）、宗像委員、石井委員、松島委員、福澄委員（代理出席）、磯部委員、伊藤委員、木原委員、山根委員、西村委員、藤崎委員

事務局：4名

庄賀総合政策部次長、古林政策企画課課長、濱原政策企画課課長補佐、伊藤主任

関係者：2名

原コミタク運営協議会1名、原市民センター地域・保健福祉支援チーム1名

次第：1 委員の紹介

2 議事

- (1) 会長、副会長、監査委員の選任について
- (2) 平成28年度収支決算及び監査報告について
- (3) 平成29年度予算（案）について

【道路運送法関係】

- (4) 原校区コミュニティタクシーの実証運行について

3 その他

## 1 委員の紹介

事務局から委員の紹介を行った。

## 2 議事

### (1) 会長、副会長、監査委員の選任について

委員の互選により、会長を榊原委員、副会長を若本委員とすることに決した。

事務局の推薦により、監査委員を綿部委員と吉原委員とすることに決した。

### (2) 平成28年度収支決算及び監査報告について 【承認】

事務局及び前監査委員から、平成28年度収支決算及び監査報告を行い承認された。

（質問、意見なし）

### (3) 平成29年度予算（案）について 【承認】

事務局から、平成29年度予算（案）について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

【会長】

再編実施計画では、東部の乗継拠点を整備していくと示されていますが、なぜ予算に計上されていないのですか。

**【事務局】**

東部の乗継拠点については、民間の既存施設を活用することとし、現在調整を進めています。事業の実施については、平成30年度を予定しているところです。

**【道路運送法関係】**

**(4) 原校区コミュニティタクシーの実証運行について 【承認】**

原コミタク運営協議会から、原校区（北上梅田・光陽台、第二原・第一原、新開作）における7月からの地域内交通の実証運行について説明を行い承認された。質疑については、以下のとおり。

**【委員】**

運行について、国の補助要件を説明させていただきますが、運行ルートをやめタウン宇部までにする事で、国庫補助のバス路線（宇部市交通局の西ヶ丘・日赤線）に接続することになり、フィーダー路線として国の補助金を受けることができます。

その代わりに、国庫補助のバス路線（宇部市交通局の西ヶ丘・日赤線）と競合しないようにする必要がありますので、競合区間である「かとう整形外科～ゆめタウン宇部」間のコミタクでの移動は一部制限されます。

運行ダイヤは、車両が1台で済むように行きと帰りで各ルートを順番に回るように設定されており、効率的になっています。

なお、目標値の設定は、国の補助金申請でも必要となっています。

**【副会長】**

運行日が週2日で、運行回数も1往復と少ないように感じますが、どのように決められたのでしょうか。

**【原コミタク運営協議会】**

当初は週1日の1往復で検討していましたが、利便性や運行経費など総合的に判断して週2日の1往復で実証運行を開始したいと思います。

実際に運行してみないと分からないことも多いので、利用実態に合わせて運行曜日や運行回数を見直ししていきたいと思います。

運行曜日は、各自治会で何曜日に利用したいか実際に聞いてもらい、火曜日と木曜日に決めました。

**【地域・保健福祉支援チーム】**

補足ですが、運行地域である北上梅田と妻崎には、民間の移動販売車が水曜日と金曜日に来ますので競合しないよう、また、スーパーの特売日等も考慮して、運行曜日を決めました。

**【副会長】**

年間収支率と年間利用者数の目標値の設定にあたり、どのような調査をされましたか。

**【原コミタク運営協議会】**

昨年9月まで運行していた厚南循環線の事前アンケート調査では、十分採算が取れるという結果が出ましたが、実際はほとんど利用されず廃止となりました。

この経験からアンケート調査は行わず、地域の状況を良く知っている自治会長が、利用してもらえそうな人に聞き取り調査を行い、その結果に基づき目標値を設定しました。

この目標値が達成できるように、運営協議会が中心となって、しっかりPRと声掛けを進めていきたいと思います。

**【副会長】**

運営協議会が自治会長と民生委員で構成されていますが、理由はありますか。

**【原コミタク運営協議会】**

自治会長は、その地域のことに精通しており、コミタクの運行にあたり関係者との調整や地域内への周知などが必要なことから、運行地域の8自治会長に運営協議会に入ってもらっています。

また、民生委員は、コミタクの主な利用者となる高齢者や障害者の実情を一番知っているため運営協議会に入ってもらっています。

**【委員】**

実証運行の期間が7月から9月となっていますが、国の補助金申請の都合もあるのかもしれませんが、夏の暑く高齢者の外出が減る3か月で、運行の継続か中止かを判断するのは厳しいのではないのでしょうか。

**【事務局】**

国の補助金を受けるのであれば、実証運行は3か月が目安とされています。週2日の3か月という限られた運行日数の中での判断は難しいと思いますが、ほとんど利用者がいないなど目標値から大幅な乖離がない限りは、そのまま本格運行に移行したいと考えています。

開始からすぐに利用者を獲得できるように、これまでの検討状況などを自治会長が地域に周知したり、コミタク通信を作成し回覧するなど、PRに努めています。

**【委員】**

これからコミタクを利用される方々は、現在、買い物などはどのようにしているのでしょうか。

**【地域・保健福祉支援チーム】**

移動販売車を利用したり、近くの知り合いとタクシーを乗り合わせたり、土日に家族に送迎してもらったりしています。

また、コミタクを地域に周知する中、現在自分で運転して買い物に行かれている高齢者で免許を返納したいという方もいらっしゃいました。

**【原コミタク運営協議会】**

一人暮らしの高齢者などは、近所の方や福祉委員にお願いして、買い物に連れて行ってもらうという声も聞いていますので、コミタクでそういったことが解消されるのではないのでしょうか。

**【委員】**

免許返納される方がいるのであれば、コミタクの安定した継続が重要となってきますが、年度替わりに自治会長や民生児童委員が一斉に代わることで協議会の運営に支障をきたすことがあるのではないかとと思いますが、どのように対応される予定ですか。

**【原コミタク運営協議会】**

一斉に代わることはありませんが、交代の際はしっかりと引継を行います。

**【会長】**

目標の達成にあたっては、毎週乗ってくれるなど固定した利用者を獲得し、増やしていくことが大切だと思います。

協議会の運営については、宇部市や山口市でも立ち上げ時のメンバーから次の世代への引継が課題になっているようですので、2～3年先、4～5年先を見据えて考えていかなければいけないと思います。

皆さんご異議がないようですので、本件について承認とさせていただきます。

**3 その他**

**【事務局】**

次回の会議ですが、宇部市地域公共交通再編実施計画に基づき、10月1日に路線バスのダイヤ改正を行う予定がありますので、道路運送法関係の委員については、6月末にお集まりいただきたいと考えています。